

地域懇談会実施報告書

自治会名 泉区

開催日 平成 22 年 12 月 14 日 (火)

時間 19 : 00 ~ 20 : 10

開催場所 泉公民館

参加人数 35 人

懇談内容 別添 議事録

- 質問等後日回答を要するもの

国保医療費通知について

下水道・浄化槽維持管理経費比較について

- 対応

後日文書で回答

行政側出席者氏名

常盤公民館長 高橋 敬治

記録者 常盤公民館主事 浅野 幸一

泉区地域懇談会会議録

平成22年12月14日 19:00～

1 開会

2 区長あいさつ

3 市長あいさつ

最近の話題や3つの課題の説明

- 大町病院の再生（医師確保・事務体制）
- 働く場の確保（産業立地、工場誘致）
- 松本系魚川高規格道路

以上の政策課題に取り組むために、健全財政に努めたい。

師走のお忙しい時期に地域懇談会を開催いただき感謝申し上げます。まず、私から市が直面している政策課題の3つの柱についてお話をさせていただいた後、日頃、地域の皆さんが抱えている課題についての懇談の時間を持ちたいと思っている。

一つ目の政策課題は大町病院の再生についてである。市議会と市が主催して、大町病院の再生をテーマに、神奈川県三浦市の三浦市立病院の再生先進地事例の講演をいただいた。医師確保については脳神経外科の常勤医師がいないため、何とか確保する取り組みをしている。県の保健福祉部長や副知事をお願いして、自治医科大学を卒業した医師を大町病院に派遣していただくように要請している。それから県立こども病院の院長さんにも、県立病院の中からも一人派遣していただけないかお願いしている。しかしながら、どこの病院も信州大学でさえ医師が不足して困っている。直接、医師に呼び掛ける取り組みを今後も続けていきたい。医師を確保した上で、中長期的に体制の改革をしていきたい。病院の開設者の立場としては、短期的に改善をしていかなければ間に合わないが、今の大町病院は劇薬に耐えられるだけの体力があるのか難しい問題である。その中でも早期に手を打たなければならないのは医師確保と事務体制の見直しである。特に事務体制では一般行政職を異動で配置するより、病院経営に明るく精通したスタッフを民間から採用するしかないだろうと考えている。また市民の皆様にも「大町病院を守る会」として医師を励まし、働く意欲を高めていただき、またボランティア活動で庭木の剪定などご協力いただき感謝している。

二つ目の課題は働く場の確保である。一昨年の世界金融不況で、特に地方に工場がある企業は大変苦戦を強いられてきた。大町富士も全面撤退という発表であったが、体制を松本本社のグループ企業の富士電機セミパワーコンダクタとして存続していただき、先日も設備投資のお話を伺った。この他にもニチコン、昭和電工、アルピナウォーターなども設備投資を計画しているとのこと。この他にも新たな企業や産業、こ

の美しい自然や豊富な水、きれいな空気、風土を活かしていただける企業に立地してもらえるように様々な会社のトップと交渉する機会を重ねている。しかしながら、産業基盤に無くてはならない交通網であり、高速道路が無いというのが大きなハンディキャップになっている。

そこで三つ目の課題の高規格道路の松本系魚川連絡道路についてお話をさせていただく。県が事業主体となって長野自動車道の豊科インター北にジャンクションとインターチェンジを設けて、そこから高瀬川堤防道路を利用し、今ある道路を活用して立体交差化や部分的に片側2車線のゆずり車線を整備する計画である。先日も県の建設部長に早期着手をお願いしたところである。安曇野市の分岐点付近は測量と地質調査が行われ、特に3川合流(犀川、高瀬川、穂高川)地点ではどのように橋を架けるか技術的課題も多いと聞いている。地下水も含めた水文調査も23年度末まで行われ、様々な測量調査や設計を経て、平成25年には着工する計画となることを期待している。また小谷村雨中地区柳瀬の住宅が続く区間が夜間の騒音に悩まされ、集落の西側に迂回するバイパス道路建設の地元説明会もほぼ終わり、23年度には用地買収を含めた測量と設計に入ると思われる。さらに北の中土から北小谷の外沢トンネル北側の国の直轄事業も凍結が解除され整備が進んでいる。平成24年度には完成させると明言されているので、ほぼ北の道路は連絡道路の中に編入して使える道路となる。

いよいよ最後は大町市内をどのようなルートにするかという点である。地域の皆さんの意見を反映して計画を立てるということになっているが、現在、3つの案が考えられている。1案は上一までは堤防道路を利用し、新しい上橋を架け替えて、昭和電工の北側の真ん中2車線を高架道路として使用し、そのままバイパスを通るルートである。しかし、街中に高架橋や立体交差ということで景観が阻害される。

2案は上一から蓮華大橋までオリンピック道路を活用して、新しく斜めに橋を築き、大原・木崎へ抜けるルートである。このメリットは観光地として黒部ダム・温泉郷に近くアクセスしやすい。しかし大町中心部を迂回するため市街地活性化にはつながらない。

3案は1案の昭和電工から先を大町警察署の東側を農具川に沿って、木崎に抜けるルートである。この案は新しい道路を作らなければならないのが難点だが、橋の部分の交差道路が比較的少なく、集落を分断しなくてすむ。また観光地へは市街地を通ることで街中に足をとめることができ、中心市街地の再生にも役立つのではないだろうか。

どの案にも、メリット、デメリットがあり最適なルート案はない。この道路は今後の大町の発展や方向性を決める大事なことであり、産業、商店街、農業や地域の皆さんのご意見をお聞きしながら集約し、間違いのない判断をして進めていきたい。

このような3つの政策課題にしっかり取り組むとともに、行政改革をし、組織をスリム化し、市民の皆さんの要望に応えていかなければならない。そして財政資金もしっかり

り蓄え、過去の借金を返済するとともに健全な財政改革をして、将来に向けて市の財政体質を健康なものにしていきたい。

今回は平成19年に地域懇談会を開催していただいたが、今日も市政の状況を報告させていただき、限られた時間ではあるが意見交換をさせていただきたい。

4 懇談

【開始19:15】

区長

泉地区は県道有明大町線やオリンピック道路の影響で大型車が多く通行しているので、速度規制や標識の設置、歩道の設置を検討してほしい。

市長回答

サークルKから蓮華大橋までの1450mに1.5m幅の歩道をつけたとすると、1億5千万円程の事業費がかかる。単年度では無理なため、仮に5年事業とするにしても国の交付金を活用しなければ市の財政負担が軽くない。同時に交通量についても歩行者がどの位いるかなどの調査や制限もかかってくる。市内を見ても他に歩道が必要な箇所があり、やはり通学路が優先と考える。来年度は南大町駅から仁科台中学校までの通学路の歩道整備を予定しているので、優先順位をつけて整備していきたい。

安全対策として、速度規制、安全標識の設置については公安委員会の管轄になる。警察などと協議していく中で速度を落とすなど、安全喚起を呼びかけていく方法を考えていきたい。夏場の田んぼの畦草刈時にも危険だと認識している。また、山麓線のT時路の信号機設置の要望をいただいているが、警察署では設置を抑制する方向である。信号機を設置する場合には待機スペースの確保や地権者の同意が必要であり、まだ一部得られていない状況であるので粘り強く交渉していきたい。

出席者

3～5年前に仕事の関係で交通量調査をしたが、当時、上下合わせて1日6000台の通行量があった。中長期的に追い越し禁止等の工夫をしていったらどうか。

市長回答

追い越し禁止車線等の工夫により、心理的に速度を落とす効果があるので一つのアイデアだと思う。標識の設置や禁止については公安委員会と協議していきたい。また、国道よりも堤防道路などは大型トラック等の通行が多いように感じる。道路改良により新潟などから特に夜間の利用が目立つので、引き続き、警察、地方事務所と調整していきたい。

出席者

5年以上かかってもやっていただきたい。農作業中は本当に危険である。歩道の設置を含め検討してほしい。

市長回答

優先順序に従い、順次整備していく。

出席者

「あなたの先月の医療費はいくらです。」という、国保の医療費のお知らせが毎月届く。この通知は、どのくらい医療費がかかったのかというお知らせ、また、無駄な医療費を抑制するための啓発という意味があるかと思う。しかし、無駄な経費がかかっているのではないかとも思う。通知する基準を設け、一定の金額を越えた場合のみ通知するというシステムにしてはどうかと思う。

市長回答

例えば、私は市町村職員共済に加入しており、共済組合より、医療費通知書が届く。国民健康保険は市が保険者となり、自営業者や、仕事に就いていない方に加入していただいている。市町村が独自で保険料を徴収し、県、国の負担金を加算したうえで、給付を行う仕組みとなっている。市町村が医療費を抑制する事業を講じることで、国から補助金を交付される制度がある。この補助対象事業として、個人が窓口で支払う金額の何倍もの医療費が支払われていることをお知らせし、また無駄な治療、投薬等をなくし、医療費を抑制するために医療費通知書をお送りしている。このシステムも定着しつつあると思うので、一定の金額を超える高額医療費についてのみお知らせする等の切り替えを図ることができないか、持ち帰り担当課と調整し、区長を通じてお答えする。

出席者

どのような目的で、この通知書を発行しているかという説明も記載するべきである。（他の出席者から：記載されているとの発言も。）

市長回答

通知書にはっきりとわかりやすく、記載するように努める。

市長

先日、医学部を目指すお孫さんをお持ちの方から、大町病院の医師の奨学金制度についてご質問があった。この制度は医学部に合格すれば受けられる仕組みとなっている。当初は貸付金として貸与し、医師免許取得後、一定期間、大町病院で勤務し

ていただければ、返済の必要はなくなる仕組み。来年の受験シーズンが終わり、申込者が出ることを期待している。

出席者

泉地区は下水道事業の計画エリアに入っていないため、合併浄化槽を設置している。下水道と浄化槽では受ける恩恵が全く違い、下水道には及ばない。合併浄化槽には、設置の補助や保守点検費用の補助が受けられる制度がある。保守点検料は年間2～3万円かかる。それに加え年1回の清掃にも2～3万円かかる。その他にも、消毒や土地改良河川使用料等経費がかさむ。この点を考えると浄化槽の方が下水道より維持管理にかかる負担が大きい。下水道に接続する事の方が望ましいのではないかと考えるが、下水道エリアに入っていないので仕方ない。浄化槽にかかる負担が下水道の場合より大きいのであれば、措置をお願いしたい。浄化槽の場合と、下水道の場合、どちらが個人的な負担が大きいのかどうか、それぞれの経費の試算を公表してほしい。

市長回答

設置時の一時的な経費から考えると、浄化槽の方がはるかに負担は軽い。下水道事業は大規模な工事で、本管が引かれ、接続する、しないに係らず負担金をいただく。事業費は国の補助もあるが、ほとんどが起債でまかなわれている。その後接続いただき、使用料としてお支払いいただく。合併浄化槽は、補助金の占める割合が高く、全体の経費の7割を補助金でまかなうことが可能である。設置時の設備投資から考えると、合併浄化槽の方がはるかに負担は軽い。浄化槽を個人で適正に管理していくには、経費の面で負担が大きくなっていく。管理を怠ると、汚水はそのまま川へ流れ込んでしまうため、保守点検や清掃も必要であり、かつ経費がかかる。浄化槽の機能を維持していくためには、個人の責務として管理していただく必要がある。そのためには経費がかかることもご理解いただきたい。

出席者

浄化槽の保守点検は助成があるので実施するが、清掃については費用もかかり、罰則がないため実施していない場合が多く、結果、河川へそのまま流しているという話も聞いている。

市長回答

保守点検は法的に義務付けられているため、補助金の制度もある。清掃を実施しないと、保守点検の結果に反映されると思うので、できる限りの適正な管理をお願いしたい。

維持管理経費の個人負担について、一般的な世帯をモデルケースとして、下水道、

浄化槽、それぞれの場合の設置後10年間のデータを比較し、後日、区長を通じてお知らせする。

出席者

市の財政状況についてお聞きしたい。

市長回答

財政については、二つの見方がある。さまざまな事業の財源を調達すること。もうひとつは、厳しい財政状況に耐えられるかどうかということである。財源については、市税が一番の柱で、当市では収入に占める市税の割合が約4割である。5割(訂正)が地方交付税となっている。この二つの収入が一般財源となり、さまざまな事業に充てられている。税収をアップすることによって、安定的な収入を確保するとともに、経費を削減し、無駄な支出を抑えることにより蓄えを増やす。また新たな政策の事業費にまわすなどの、一般財源のやりくりも重要になってくる。一般財源の規模からすると、同規模の地方公共団体の中では、一応安定した水準であると考えている。一般財源のほかに、特定財源といわれる、国や県の交付金や補助金がある。できるだけ有利な交付金等を獲得し、財源を確保するような努力をしている。当初予算を編成する際、財源が足りない場合、財政調整基金を取り崩して事業に充てているが、年度中途に国や県の交付金等の財源を確保することによって、基金の取り崩しを予定した額を崩さずに済んでおり、さらに基金に積み立てられる状況である。公債費による財政負担の程度を示す実質公債比率も19.0%(訂正)と、この3年間で随分と改善されてきている。

また 財政構造の弾力性を判断する指標である、経常的支出に経常的一般財源がどの程度充当されているかを表す比率である経常収支比率は、当市の場合90%程度で、弾力性を失っている状態であるといえる。人件費と物件費が比率を高める要因であるが、当市の場合、合併後から10年間で66人を削減する計画で人件費抑制を進めている。結果、この4年間で一般行政分野だけで39人の削減を実施してきている。当市の給与水準は、国家公務員に比べ、ラスパイレス指数で96程度(訂正)の水準である。今後とも人件費総額を抑えていく予定である。また、当市にはいくつかの文化施設や体育施設などが整備されている。他市に比べると若干多いと思うが、大町温泉郷などの宿泊施設を有する観光立市であり、公共施設を利用したイベントを開催することで、宿泊施設の利用増加につながる効果もあり、公共施設の整備にかかる経費も適正に執行していきたい。今年は、もみのき・こぶし保育園を、一つの保育園に統合することによって、運営費をコンパクトにすることで、人件費や物件費を抑える努力をしている。財政の状況については、人間の健康にたとえて、どのくらい体力に余裕があるのか、また健康的な体質が維持されているのかということの二つの視点から、健全な状態を目指していきたい。

区長

区長として、市等が開催する会議に出席しているが、会議が多く、重なってしまうことがある。また、地域での課題解決の業務も多く、自治会長への負担は多くなっている。負担軽減の手立てはないものか。

市長回答

区の役員の皆さんには本当に感謝している。自治会等の役員の皆さんの役割は二つある。一つは地域の課題を解決するための「地域の役割」と、「行政との橋渡しの役割」がある。市域全体の自治会長さん方にお集まりいただく会議については、市民活動サポートセンターで調整しているので、重なるケースはないと思うが、他の団体等の会議や、該当する地区のみの会議などは、時期的に集中してしまう場合もある。なるべくご迷惑をお掛けしないようにしたい。

出席者

大町市の市議員の報酬は、他市と比べてどの程度か。

市長回答

県下、飯山市に次いで2番目に低い水準である。市長等の給与等も人口規模で比較してみると、決して高くない水準である。

出席者

12月14日に市議会主催の「病院再生先進地事例講演会」に出席したが、すばらしい講演であったので、講演の要旨をまとめて皆さんに紹介してはどうかと思う。病院経営の改善については、利用者を増やすことが近道であるが、そのためには専門医の設置が必要である。医師の人数を増やすことも大事だが、大町病院には脳外科、胸部外科、神経科の専門医がいない。また認知症の場合も大町病院では診療できない。専門医の設置が根本的に必要だと思う。

市長回答

講演の要旨については、市民の皆さんにお知らせする手立てを講じる。ケーブルテレビでも収録しており、また「市議会だより」でも概要をお伝えできると思うので、調整させていただく。

専門医の設置については、ほとんどの中規模病院では専門医を揃えられないのが現状である。大町病院の内科では消化器内科、呼吸器内科、循環器内科のそれぞれの医師が揃っている。280床の自治体病院でこれだけ充実した内科の専門医を揃えているのは稀である。しかし、外科では胸部外科等の専門医の配置は、信大に要請しても、信大自体で医師不足のため難しい状態である。このような状況であるため、

他の病院との連携を深めることで改善を図っている。現に安曇病院とも外科診療の連携を取っている。大町病院では精神科を診療科として備えていないため、認知症の診療は難しいが、安曇病院や安曇野日赤病院と連携を取る努力をしていきたい。今後も、信大や県に医師の派遣を依頼していくとともに、公募という形で、独自に専門医を確保する手立てを講じていきたい。

出席者

大町病院に専門医がいないのは承知している。いる、いないにかかわらず、病院間のインフラ整備が重要だと思う。そして、急患が出たときに速やかに移送するためには、道路等の整備も必要だが、ネットワークの連携を密に取っておくことではないか。

市長回答

安曇野市以北で小児科、産科の両方を備えているのは大町病院だけである。それは大町市の強みだといえる。それぞれの病院の得意分野を生かしていくことで、さらに高度な診療を受けられる体制が整えられる。また高額な医療機器も得意の診療分野に優先的に配備することにより、経営面でも効率よく運営できる。そのような病院間のネットワーク体制の仕組みづくりを図っていきたい。

区長

道路等の課題について、建設課に相談に伺うことが多い。現場に来ていただき、相談にのっていただきありがたい。今後ともよろしくお願いいたします。

市長回答

市役所の中で、建設課と市民課が一番、市民の皆さんと接する場所であり、私もその点について、担当職員と連絡を密にしている。特に、地域の細々とした要望に応えていくのが建設課の役割であると考えている。泉地区からは毎年十数件の陳情をいただいている。毎年、数件の改善策を講じるのがやっとなのであるが、道路・水路の改修についてはできるだけ対応していくようにしている。また、近年、国の緊急経済対策などの交付金を活用することが可能になり、市民に密接な生活基盤の改善や、地域経済の活性化に役立つ施策を講じ、すぐに改善できるとはいえないが、少しずつであっても改善してまいりたい。

5 市長お礼のあいさつ

6 閉会

【終了20:10】